

マハゼ釣りの風景

■釣り人の姿が戻る

今回の調査では、潟湖内でマハゼ釣りをする人の姿が見られた。釣り人に撮影させていただいたマハゼ (Fig.1) は10cm程度の大きさであった。水中にいる個体も観察でき (Fig.2)、多くのマハゼを確認することができた。また、ウが水に潜り餌を追う姿も見られた (Fig.3)。ウミウ、カワウの判別はできなかった。周囲で跳ねる小魚が観察され、小型のボラであろうと思われる。



(Fig.1 つり上げられたマハゼ)



(Fig.2 水中のマハゼ)

■活動するカニ

今回の調査は暖かい日 (16°C程度) であった。前回の調査は気温が低く、活動するカニは見られなかったが (レポートNo.282参照)、今回は水中のヤマトオサガニ (Fig.3) やコメツキガニ (Fig.4) が観察された。



(Fig.3 ウ)



(Fig.3 ヤマトオサガニ)



(Fig.4 コメツキガニ)